

# 高校教育指導課通信 VOL.3

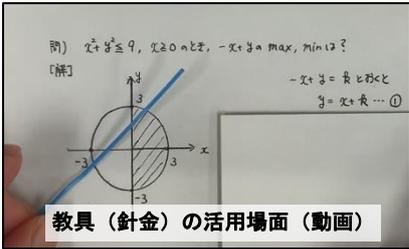
「高校教育指導課通信」では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う各学校の工夫した取組等について情報提供します。第3号は福山誠之館高等学校です。

令和2年5月29日（金）

福山誠之館高等学校 <http://www.fukuyamaseishikan-h.hiroshima-c.ed.jp/index.html>

## 主体的な学びを促す授業づくり

— 個別最適な学びの実現に向けたICTの有効活用 —

興味・関心の醸成	思考の促進	個別の学習状況の把握
<p>⇒物理の「ドップラー効果」の学習において、撮影した実験場面を繰り返し見たり止めたりすることができるような動画を提供することで、生徒の興味・関心を高め理解を促します。</p>  <p>物理の実験場面（動画）</p>	<p>⇒数学の「円と直線」の学習において、動画の中で教具（針金）を活用することで、生徒の直線の動きに関するイメージを膨らませ、課題意識をもたせます。</p>  <p>教具（針金）の活用場面（動画）</p>	<p>⇒外国語の「英作文」の学習において、生徒自身の家庭学習の状況等を内省（何ができるように、何ができないかを確認）させることで、次の学習の目標や見通しをもたせます。</p>  <p>外国語の授業場面</p>

## 教科会を中心とした授業づくりの推進

— 効果的・効率的な単元づくり・授業づくりに向けた教科会の充実 —

組織的な教材研究の活性化	教職員の資質・能力の向上
<p>担当の先生より</p> <p>「効果的・効率的に授業づくりを行うためには、単元の目標を踏まえ、単元の構想を練り計画を立て授業に落とし込んでいくことが大切です。そのため、教材や動画等の内容等について事前に教科会で協議し作成しています。研究授業の事前協議のような議論を定期的に行っています。」</p> 	<p>担当の先生より</p> <p>「事前に生徒の反応を想定して課題を課すものの、学習内容を習得できていない状況も見られました。今後は、生徒の学習の習得状況を担当の教員はもとより複数の教員で共有し、そのデータをもとに教材を見直すことで、生徒の資質・能力の育成に向けた単元計画・指導計画の作成や教材開発につなげていきたいです。」</p>

今後も、「高校教育指導課通信」で様々な情報を各学校へ発信してまいります。取材の希望等がありましたら、高校教育指導課へ御連絡ください。

